

豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成

～ICTを効果的に活用した複式授業の個別最適な学びの充実～

猿払村複式教育研究部会

1. 研究主題について

本研究会では、研究主題を『へき地・複式・小規模校の特性を生かした、豊かな心と確かな学力をもつ子どもの育成』とし、ICTの活用を軸とした効果的な複式授業の構築を目指している。今年度も各学校での取り組みを基本として、情報共有を行っていく。

2. 複式授業におけるICTの活用

猿払村では、今年度村内小中全校にAIドリル『Qubena』を試験導入している。授業や家庭学習で活用することで、児童がスムーズに自ら学習を進めることができるようになった。それは複式授業で欠かすことのできない力である。また、Google classroomを利用し、欠席児童とのやり取りに活用している。

更なる活用を目指し、今年度は各校がメディアリテラシー教育に力を入れた。小さな学校でもネットで広がる世界は無限である。安全で効果的な活用を推進していきたい。

3. 宗谷管内教育研究大会猿払・浜頓別・中頓別大

○浜鬼志別小学校

ICTの活用が進み、子ども自ら操作技能の向上が見られる一方、昨今の課題として、よりよいメディアとの付き合い方と生活リズムをどう確立させるかがある。様々な取組の中の一つに、参観日に外部講師を招いての「インターネットやスマホの使い方」出前講座を行った。保護者と学校との共通理解をもとに、よりよいメディアとの付き合い方について学びを深めることができた。今後も保護者とともに学ぶ機会を多くもち、協働しながら課題解決に向けて取組を進めていきたい。



○知来別小学校

ほぼ毎日、ICTを活用した授業を行っている。教職員もその効果的な利用や重要性を認識し、学校で研修を行うなど、全職員一丸となって取組を進めようと努力している。

学校の課題として子どもたちのメディア利用時間が多いことがあげられていたため、今年度はメディアの正しい向き合い方を保護者とともに学習することにした。PTAメディア講座を参観日後に開催し、「知来別小学校メディアコントロール宣言」を行った。今後、15日を「メディアコントロールデー」に制定し、取組を深めていきたい。



○浅茅野小学校

浅茅野小学校では、学活で「生活を見直そう～よりよい睡眠」と題し、より良い睡眠のとり方とそれを妨げる恐れのあるメディアの使い方について学習し、一人一人の生活を振り返って、平日や休日のメディア利用目標時間の見直しを行った。この授業を参観日で行い、その後の懇談でも同内容を取り上げ、家庭での実態と課題を交流し、児童と学校、家庭とで目標を共有することができた。



よりよいICTの使い手となるためのメディア教育をこれからも計画的に行っていく。

4. 今後の方向性

ICTは便利であるが使い方によっては、危険を伴う。教師と児童のメディアリテラシーを高め、個別最適な学びと協働的な学びにつなげ、確かな学力の定着を図っていきたい。

今後も各校で校内研修を深めるとともに学校間交流を推進していきたい。